

「東郷学園義務教育学校の東郷文弥節人形浄瑠璃伝承活動の取組」

1. 学校名	薩摩川内市立東郷学園義務教育学校
2. 学年・人数	5年生 48人
3. 日時・場所	<p>(1) 練習の期間・場所 令和7年5月～11月 本校体育館, イングリッシュルーム</p> <p>(2) 発表の日時・場所 令和7年11月7日 東郷学園義務教育学校学園祭（本校体育館）</p>
4. 伝承・活用に 取り組んでいる 郷土芸能, 伝統 行事, 伝統工芸 品について	<p>(1) 名称 国重要無形民俗文化財指定 東郷文弥節人形浄瑠璃 （とうごうぶんやぶしにんぎょうじょうり）</p> <p>(2) 由来 元禄11年（1698年）頃, 薩摩藩主島津氏の参勤交代に随行した東郷の郷土たちが帰国の途中, 上方（京都）で当時流行の文弥節人形浄瑠璃を観て, 感嘆した。その後郷里の子弟の士気を高めるために, 上方（京都）から文弥節の師匠を連れ帰り, 広めたと言われている。</p> <p>(3) 構成等 語り太夫・三味線・太鼓・拍子木はそれぞれ一人で行う。男人形は一人, 女人形は二人で操る。昔から「人形おどり」とも言われ, 踊りが大きく, 中でも「かかり」または「だんぎ」といわれる太鼓や三味線・拍子木ではずみをつけて, 足拍子をとりながら人形とともに大きく動くところがある。斧淵の郷土たちによって伝承され, 語りや人形の動きは素朴なのが特徴である。</p>
5. 文化財伝承・ 活用の取組にお いて地域との連 携や工夫した点 等	<p>5年生がふるさと・コミュニケーション科の学習において, 地域で伝承されている「人形浄瑠璃」について学習している。7つのプロジェクトチームが探究活動を進めた成果を学園祭で発表した。</p> <p>児童に, 東郷地域の一員としての自覚や地域を誇りに思い, 大切にしていこうという心情を育むためにこれらの学習は続けていきたい。</p>
6. 取組の様子 （練習状況, 発 表の場等）	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="408 1435 919 1809">  </div> <div data-bbox="940 1435 1439 1809">  </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div data-bbox="539 1816 754 1854" style="text-align: center;">学園祭での発表</div> <div data-bbox="991 1816 1393 1854" style="text-align: center;">来場者アンケートの呼びかけ</div> </div>
7. 感想・意見 （参加児童生 徒・保護者・ 保存会・教員 等）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保存会の人たちの「楽しんでほしい」「後継者や見に来る人が増えてほしい」という思いや, 人形浄瑠璃の魅力に気付いて, 人形浄瑠璃が大好きになりました。</li> <li>・ 受け継いでいる人の思いが, それぞれだということが分かりました。</li> <li>・ 公演会の準備の仕方などいろいろ分かって嬉しかったです。</li> </ul>